

Column

支援要員制度を利用して



金子 美華

医学系研究科 地域イノベーション分野 准教授

「支援要員制度」には、東北大学に着任した2013年度からお世話になっています。当時、6歳、4歳の子育て中、第2子が特発性小児ネフローゼ症候群で月1回以上の通院治療中でした。前任地で同様の制度を利用していたので、「東北大にもあるに違いない」と探し、年度途中で、(藁(わら)に)すがる思いで問い合わせたところ、採択して頂きました。

私の研究分野は、いわゆる「ウェット」な実験系。ある程度まではマンパワー(実験の量)が成果に比例します。準備など実験に必須の単純労働、実験材料調整の様な単純作業的な実験等が支援要員によって安定的に行われると、実験結果の精査、考察、次の実験計画などの知的活動にじっくり取り組むことができ、負担感が軽減されます。東北大着任1年目にペースを落とさず研究を遂行する上で、短時間でも毎日安定してラボワークに従事してくれる支援要員の存在が非常に助けになりました。

ただ、ラボワーク系支援要員の方は、ご自身の研究者としてのキャリアを最優先に考えてはいる方が雇用されることがあるかと思えます。本制度が、利用者にとってだけでなく、採用される人材にとっても、より安定的に運営されることを願っています。

Science Angel

平成26年度 サイエンス・エンジェル活動実績 (2015年2月1日現在)

- 6/7(土) SAオリエンテーション
- 6/26(木) 出張セミナー:秋田県立秋田南高等学校
- 7/20(日) 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2014への出席
- 7/29(火) 日本が誇るマテリアルの世界(材料フェスタin仙台) ワークショップの実施
- 7/30(水)、31(木) オープンキャンパスfor女子高校生2014
- 8/9(土)、10(日) 国立科学博物館「サイエンススクエア2014」への出席
- 8/21(木) 楽しい理科のはなし～不思議の箱をあけようへの出席
- 9/5(金)、6(土) 出張セミナー:茨城県立竜ヶ崎第一高等学校
- 9/11(木) 出張セミナー:山形県村山市立桶岡中学校
- 10/4(土) 第12回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加
- 10/16(木) 出張セミナー:宮城県宮城第一高等学校
- 10/18(土) 出張セミナー:山形県立山形西高等学校
- 11/8(土)、9(日) サイエンスアゴラ2014への出席
- 11/15(土) 出張セミナー:山形県立山形東高等学校
- 11/29(土) 第11回東北大学男女共同参画シンポジウムへの参加
- 1月22日(木) 出張セミナー:宮城県宮城第一高等学校
- 2月16日(月) 出張セミナー:青森県立三本木高等学校
- 3月17日(火) 出張セミナー:仙台市立仙台高等学校
- 3月4日(水) 出張セミナー:仙台白百合学園中学高等学校 ※2月以降は予定

平成27年度サイエンス・エンジェル募集

1月30日～3月20日(一次締切)、～5月8日(二次締切)
 *応募書類は各所属部署の担当窓口(教務係)へ提出して下さい。 *事務手続き上、各所属先に締切が若干異なる可能性がありますので、余裕をもって書類を提出して下さい。 *3月14日にSA活動報告会を男女共同参画推進センターにて開催します。興味のある方は是非ご参加ください。

Report of the Seminar

『女性研究者のためのメディア対応セミナー』の実施



女性リーダー育成の一環として、「女性研究者のためのメディア対応セミナー」を行いました。初めに、橋爪センター助手より、挨拶と会の趣旨説明がありました。本セミナーでは、メディア対応のプロである大手広告代理店から講師をお招きし、主にテレビ取材の際の具体的なノウハウをお話いただきました。参加者からは「概要から小さなポイントまでの説明でとても参考になりました」「わかりやすく「使える」テクニックを本当にすっきりと話されていて、とても面白かったです」などの感想をいただきました。参加者は30名となり会場は満席となりました。最後に大隅副センター長より閉会の挨拶が行われました。セミナー後、講師と沢柳フェローである、大隅副センター長、杉本亜砂子氏、吉沢豊子氏を囲んで女性研究者が集い軽食を取りながら茶話会が行われました。メディア対応や写真の有効利用について大隅副センター長よりご助言がありました。若手の先生方からは沢柳フェローの先生方や講師にアドバイスを求める姿も見られました。

【開催日】 2014年12月16日(火) 11:00-13:00
 【会場】 片平北門会館2Fセリシール
 【参加した沢柳フェロー】大隅典子先生、杉本亜砂子先生、吉沢豊子先生
 【参加者】 30名



セミナー後の茶話会の様子

Information

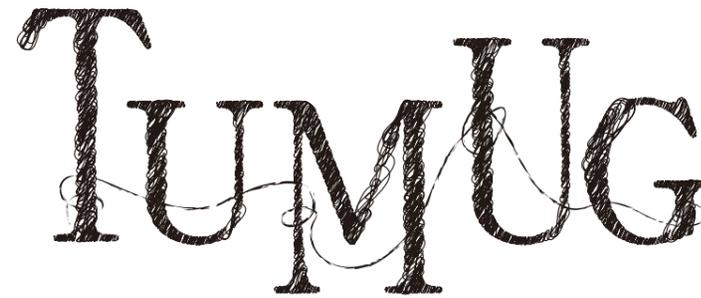
東北大学 川内けやき保育園

小学校就学の始期に達するまでの子どもを育てる東北大学職員(全学対象)が利用することができる託児施設です。



【定員】 30名
 【保育日】 月曜日から土曜日まで(ただし、祝祭日及び年末年始の休日を除く。)
 【保育時間】 常時保育(通常保育)8:00～19:00(延長保育)19:00～20:00(土曜日を除く。)
 一時保育 8:30～17:30
 【入園資格】 東北大学の教職員や学生等の乳幼児で保育を必要とする家庭のお子さんです。(受入乳幼児は生後2ヶ月から小学校就学前までのお子さんです。)
 ※ただし、家庭内に保育のできる方がいる場合は入園の対象になりません。
 東北大学の教職員や学生等の乳幼児で、保護者の入院又は各種研究会等々への出席など、保護者に緊急の事情が生じた場合には予約制により、可能な限り受け付けます。(受入乳幼児は生後5ヶ月から小学校就学前までのお子さんです。)

お問い合わせ先/総務企画部総務課総務係(内線:片平4807)
 ●募集は園児の空き状況により4、7、10、1月の年4回行っています。
 センターホームページにも概要を掲載しています。



2015
VOL. 2

「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクロニム)。東北大学が「訪ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして拡がっていくことを目指しています。



オリヴァー・スミティーズ教授、前田信代教授ご夫妻来訪

- 01 ▶ 当センターのロゴマーク決定
▶ 平成26年度女性研究者受賞者紹介
- 02 ▶ 募集実施プログラム
- 03 ▶ 利用者の声
▶ 森まさこ氏、河村潤子氏、辻村みよ子氏来訪
▶ オリヴァー・スミティーズ教授、前田信代教授ご夫妻来訪
- 04 ▶ コラム:金子美華先生



当センターのロゴマークが決まりました。

制作者/群馬県在住 小池友基 氏

杜の都仙台を象徴するケヤキの木をモチーフに、人々が手を取り、支え合う様子をイメージしています。また、葉の形は四葉のクローバーにも見え、幸せな未来も想像されます。東北大学男女共同参画推進センターは、年齢・性別等を問わず、誰もが夢や希望を持って、あらゆる分野で活躍できる社会を目指して、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

*氏名/所属/職階/受賞/登用名/受賞月の順で記載しています。

Winning Prizes!

受賞・登用者紹介

女性リーダー育成の取り組みのひとつとして、本センターでは学内の女性研究者の受賞や登用を発信しています。皆さんおめでとうございます!

- ▶ 小谷 元子 WPI-AIMR機構長、理学研究科/教授
東北大学 副理事(研究担当)/4月
- ▶ 出浦 桃子 金属材料研究所/助教
第38回結晶成長討論会 討論会賞/9月
- ▶ 渡邊 怜子 加齢医学研究所/博士研究員
NIH-Japan-JSPS Symposium 2014 Poster Award /10月
- ▶ 桜井 愛子 災害科学国際研究所/准教授
日本安全教育学会優秀実践賞/9月
- ▶ 長野 明子 情報科学研究科/准教授
日本英語学会2014年度学会賞(論文)/10月
- ▶ ガヴァンスキ 江梨 工学研究科/助教
IAWE(International Association of Wind Engineering) Best Paper Award 2013 (Sep 16, 2014)/9月
- ▶ 磯貝 恵美子 農学研究科/教授
19th World Congress on Advances in Oncology and 17th International Symposium on Molecular Medicine 学会賞受賞/10月
- ▶ 関口 仁子 理学研究科/准教授
お茶の水女子大学 第2回 湯浅年子賞 銀賞/12月
- ▶ 梅津 理恵 金属材料研究所/准教授
第19回日本女性科学者の会奨励賞受賞
「特異な電子状態を有する高機能磁性材料の基礎物性に関する研究」/6月
- ▶ 田中 真美 医工学研究科/教授
第11回(平成26年度)日本学術振興会賞/2月
- ▶ 星野 由美 農学研究科/助教
東北大学先端農学研究奨励賞/7月
- ▶ 鈴木 登紀子 薬学研究科/助教
平成26年度日本薬学会東北支部奨励賞/10月
- ▶ 菊地 史子 医学系研究科/講師
第18回東北緩和医療研究会(総会)「奨励賞」/10月
- ▶ 出浦 桃子 金属材料研究所/助教
第5回女性研究者研究業績・人材育成賞(小籠香椎子賞)研究業績部門(若手)/3月

東北大学男女共同参画推進センター
 Tohoku University Center for Gender Equality Promotion
 TEL 022-217-6092
 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
 E-mail tumug@morihime.tohoku.ac.jp HP www.morihime.tohoku.ac.jp



Our Action Agenda

募集実施プログラム

平成27年度の募集実施プログラムをお知らせします。ベビーシッター利用料等補助は男性の方も利用可能です。内容によって対象、締切日が異なりますのでご注意ください。申請書(応募申請書)は男女共同参画推進センターのホームページからダウンロードしてください。

プログラム名	内容	対象部局	対象者	応募締切 (平成27年)
1 研究支援要員	研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助(上限200万円)	自然科学系部局	育児を行う女性研究者	2月16日
2 研究支援要員(シェア型)	採択者同士で事務補佐員2名(男女共同参画推進センターより派遣)をシェア		育児や介護、国の審議会委員等の社会貢献を行う女性研究者	
3 ベビーシッター利用料等補助	研究、講義、出張時のベビーシッター利用料等の補助(上限10万円)	全部局	子供を持つ教員、技術職員、PD、博士学生	7月10日
4 スタートアップ研究費	一年目100万円、二年目50万円の研究費を支援		新規採用の女性教員(助教以上)	
5 研究スキルアップ経費	会議・シンポジウム等の旅費支援 開催地が 海外:上限40万円、国内:上限15万円	自然科学系研究科	女性教員(准教授、講師、助教)	(第一回) 4月15日 (第二回) 10月中旬
6 サイエンス・エンジェル	高校出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント企画・実施		自然科学系の大学院女子学生	(一次締切) 3月20日 (二次締切) 5月 8日
7 仙台I ゾンタクラブ 東北大学大学院 女子学生海外渡航支援	海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援(上限15万円)	全研究科	大学院女子学生	6月頃 ※5月に募集開始

平成26年度 各種支援制度採択状況	・支援要員制度 8件採択 ・支援要員制度(シェア型) 2件採択 ・ベビーシッター利用料補助制度 28件採択	・スタートアップ研究費 6件採択 ・研究スキルアップ経費 31件採択 ・サイエンス・エンジェル(SA) 71名採用	・女子学生海外渡航支援事業 2件採択
----------------------	---	---	--------------------

[利用者の声]



第2子出産間近という時期に、本制度に応募し採用していただきました。3月というぎりぎりの時期に決まったため、研究支援要員を探すのに苦労致しましたが、何とか見つかりました。仕事、育児ともに大変忙しいときに、研究支援要員の方がいなければいままでも研究を続けていくことはできなかつたと思います。大変感謝しております。また機会がございましたら、利用させていただければと思います。(研究支援要員を利用)

この制度を知った経緯は、研究室の同僚が申し込みをしようとしていて、私に紹介してくれました。男女共同参画の取り組みの一部については知っていたのですが、常勤の女性研究者を対象としているイメージがあり、非常勤の私でも利用できるということは、同僚が教えてくれなければ気づきませんでした。子供が小さいうちは、学会や会議の参加を控えてはいけない、と思っていたのですが、この支援制度を利用できることになり、積極的に参加できるようになりました。(ベビーシッター利用料等補助を利用)

EAST(星陵地区の教職員・学生を対象としたグループウェア)にて本支援制度を知り、スタートアップ研究費と研究スキルアップ経費(国際高血圧学会2014(ギリシャ・アテネ)で発表)を利用させていただきました。私は、昨年3月に大学院を卒業し4月に教員に採用されたばかりで、科研費等の研究財源がありませんでしたので、研究や学会参加に対する経済的な支援は非常に有難く、大変感謝しております。このような支援は、研究そのものを円滑に進めていけるだけでなく、研究者としてのキャリア形成の上でも非常に有用だと思います。今後ぜひ、このような支援を継続して頂き、多くの女性、特に若手の女性研究者がその恩恵を受けられればいいと思います。(スタートアップ研究費・研究スキルアップ経費を利用)

9月末に女性研究者育成支援推進室からのメールにて本経費の募集を知りました。ちょうど1月の学会へ参加することを決めたとさだったので、さっそく応募しました。選考結果の予定日を越えても通知がなく諦めかけていた頃、11月上旬に採択のご連絡をいただき大変喜びました。本経費の募集は年2回しかなく、学会応募のタイミングに合わないといふ申請しにくいのが少し難点かもしれませんが、ご支援のおかげでケンブリッジ大学で行ったカンファレンスに参加することができ、口頭発表を行い、海外の研究者と大変有意義な時間を共有することができました。ありがとうございました。(研究スキルアップ経費を利用)

Welcome!

森まさこ氏、河村潤子氏、
辻村みよ子氏が本センターを来訪



11月29日(土)に開催した第11回東北大学男女共同参画シンポジウムに来賓としてお越し頂いた森まさこ氏(前女性活力・子育て支援担当大臣)、河村潤子氏(文部科学省生涯学習政策局長)、そして前東北大学法学研究科教授(現:明治大学法科大学院教授)であり、第1回澤柳記念賞を受賞された辻村みよ子氏が本センターを来訪されました。

ノーベル生理学・医学賞受賞
オリヴァー・スミティーズ教授、
前田信代教授ご夫妻 本センター来訪



ノースカロライナ大学チャペルヒル校教授であり、2007年ノーベル生理学・医学賞受賞者であるDr. Oliver Smithies氏とノースカロライナ大学チャペルヒル校ロバート・H・ワグナー特別教授である前田信代氏(1977年東北大学理学博士取得)が12月10日(水)男女共同参画推進センターを来訪され、意見交換会を行いました。本センターからは、大隅副センター長、橋爪センター助手、SAや学内の女性研究者ら10名が参加しました。

動脈硬化のモデルマウス作製で有名な前田先生ですが、「研究との出会いは、思い返せば、"アサガオの開花についての自由研究"がはじまりだった。」という微笑ましいエピソードを語りました。スミティーズ先生は、「研究のひらめきを得るには、よく眠り、たくさんディスカッションをすることが大事。後輩などに教えるということも自分の考えや研究内容についてより深める良い機会になる。」「将来のパートナー選びはとて大切。お互いを尊重し合える相手を選びましょう。」というアドバイスがありました。

日本では理系に進学する女子学生がまだまだ少ないのが現状ですが、前田先生はノースカロライナ大学では半数以上が女子学生であるとのこと。意見交換は2時間経っても尽きることなく、次世代の女性研究者へ温かいエールをいただきました。

サイエンス・エンジェル



サイエンス・エンジェル(SA)活動は平成18年度に始まりました。平成27年度は10周年を迎えます。活動の詳細はセンターホームページでご覧いただけます。活動は、センターのスタッフがサポートし、SAは研究・学業に支障のない範囲でイベントを担当します。次世代を担う小中高生とSAは共に成長し、また、国内外で活躍するSAOGの女性研究者のネットワークの一員となることで多様なキャリアの情報を得ることができます。



7月29日 材料フェスタ in 仙台



7月30、31日
オープンキャンパス for 女子高校生2014



8月8日、9日 サイエンススクエア



8月20日 楽しい理科のはなし



9月5日、6日
出張セミナー:茨城県立竜ヶ崎第一高等学校



11月7日 ノルウェー大使 東北大学来訪



仙台I ゾンタクラブ 東北大学大学院
女子学生海外渡航支援

この制度は、国際理解と社会奉仕、女性の社会的地位向上を目指す団体「仙台I ゾンタクラブ」から、これからの社会を担う前途有為な人材への支援として、本学に在籍する大学院女子学生を対象に贈られた支援金で運営しています。2007(平成19)年から始まり、今年で9年目の取組となります。

海外で開催される国際学会等で研究発表を行う大学院女子学生の渡航に係る費用を支援することにより、世界で活躍できる女性の人材育成並びに本学における男女共同参画を推進することを目的としています。

[利用者の声]

今回、IEEE EMBCという学会に海外渡航支援事業から援助をいただき、参加させていただきました。この学会は私の研究している医学分野では最大級の学会とされており、このような大規模な国際学会へと参加し、自分の研究を発表するという、研究者として大変有意義な時間を過ごすことができました。貴重な経験を得られたことに感謝しております。